

★ 提案33の賛成意見 ★

法律に準拠して自動車保険を購入することは、それなりの報酬に値します。提案33により、California州の消費者はよりお得な契約を求めて他社の保険も検討できるようになります。

California州法はすべてのドライバーに自動車保険への加入を義務付けており、実際にはCalifornia州のドライバーの約85%が法律を遵守し、保険を購入しています。法律に従って自動車保険の継続加入を維持していれば割引が受けられますが、これは同じ保険会社の保険に加入し続けた場合に限られます。

現行法では、よりお得な保険、条件の良い契約を求めることが継続加入割引の資格喪失につながるため、消費者にとっては大変不利です。

提案33はこの問題を是正し、どの保険会社であれ自動車保険への加入を継続している消費者には割引を提供します。提案33が成立すれば、より有利な条件を求めて他社の保険も検討できるようになります。

民主・共和両党の党首、退役軍人クラブ(VFW)、California州アメリカンGIフォーラム、消防士、中小事業主、個人消費者、商工会議所は提案33を支持しています。法律を遵守する州民が必ず報われるよう、皆様もこの提案33に賛成票を投じてください。

提案33が成立すれば、責任ある行動と法律遵守に対する報酬が保証され、当然の権利を行使して他の保険会社に切り替えた場合もこれを確保できます。一部の保険会社が提案33に賛成し一部が反対しているのは、これによって保険会社間に競争がもたらされるためです。皆様の周囲の保険外交員が提案33を支持しているとしたら、それはこの提案により保険会社が契約獲得のため競争せざるを得なくなるからです。

まずはどうぞ提案33をお読みください。単純明快で道理にかなった内容であることがお分かりいただけるでしょう。

提案33に賛成票を投じてください。この提案が成立すれば、どの保険会社と契約するかによらず、皆様が当然受けるべき報酬である割引が適用されます。

また提案33は、継続加入割引をより簡単に受けられるようにすることで、未加入者に保険加入を促すものでもあります。加入期間1年ごとに漏れなく相応の割引を受けることができ、加入期間が長いほど有利な割引率が適用されます。これは現在未加入のドライバーに保険加入を促し、すべてのドライバーを守ることにもつながります。

提案33はこの他にも以下のような措置でドライバーの権利を保護します。

- 提案33は、現職の軍人が割引資格を維持できるような規定を設けています。軍人世帯がアメリカンGIフォーラムや退役軍人クラブ(VFW)の主導のもと提案33を支持しているのはこのためです。
- 一時解雇や一時帰休による失業者も、提案33の下では最大18か月間、継続加入者として取り扱われます。
- 提案33では、運転免許取得年齢を迎えた学生が、親との同居または一人暮らしのいずれの場合も割引を受けられるよう規定しています。
- 提案33は、保険料の未払い期間があるドライバーにも、当該未払い期間が90日以内であればその理由を問わず割引資格を与えます。

提案33が成立すれば、よりお得な契約を求めて他社の保険に切り替えても割引が適用されるため、保険会社間の競争が促進され、消費者に有利な保険料がもたらされます。

California州では、自動車保険への加入が法律で義務付けられており、これを遵守する者には報酬が与えられるべきです。提案33に賛成票を投じてください。

ROBERT T. WOLF、プレジデント

CDF Firefighters

ESTERCITA ALDINGER

中小事業主

DEAN LEE

退役軍人クラブ(VFW)

★ 提案33の賛成意見に対する反論 ★

California州の労働者は、これまで被ってきた不当な扱いに辟易しています。これ以上保険会社の策略によって高額な自動車保険料を支払わされるわけにはいきません。

提案33の99%は保険業界の大富豪が単独で提供する資金によるものであり、ドライバーの自動車保険料負担を軽減したいというのがその大義名分です。

しかし保険会社の一役員が800万ドルもの巨額を投じてまで州民発案を支持し、州民の出費を抑えようとするなど、果たしてそうそうあるでしょうか。

提案33は、申し分のない運転歴を持つ優良ドライバーに対してまで保険料を値上げするものです。本州民発案が成立すれば、大学通学や重大なけがの治療、公共交通機関の利用など正当な理由による未加入期間を経て新たに保険を購入しようという消費者が、運転歴にブランクがあるというだけで不当な扱いを受けることになります。

California州法は、過去に運転歴がない、あるいは経済的余裕がなくこれまで自家用車を利用できなかったドライバーに対し、自動車保険会社がそれだけを理由に保険料を値上げすることがないよう規定しています。一方提案33は、保険会社が何百万人ものCalifornia州民により高額な保険料を課すことを認めるものです。

この大富豪率いるマンモス保険会社が1600万ドルを投

じて同様の発案を支持した2010年の時点で、投票者はすでに反対を表明しているにも関わらず、同社はまた同じことを繰り返しています。

通勤に大量輸送機関を利用し、その後再び自家用車を運転し始めた消費者に対して自動車保険を値上げすべきではありません。

失業後新たな職を得て運転を再開した州民の保険料を値上げすべきではありません。

重病により運転を断念したために未加入期間が生じ、回復後にいざ運転を再開しようというドライバーの保険料を値上げすべきではありません。

提案33は、自動車保険料の値上げをもたらします。マンモス保険会社の思惑に対抗し、自動車保険の規制撤廃は認められないと主張すべきです。

提案33に反対票を投じてください。

DeANN MCEWEN, RN、プレジデント

California州看護師協会

RICHARD HOLOBER、エグゼクティブディレクター

California州消費者連合

JAMIE COURT、プレジデント

Consumer Watchdog

★ 提案33への反対意見 ★

消費者保護団体は提案33に反対します。これは何百万人もの優良ドライバーの自動車保険料を値上げする保険会社の新たな策略です。

2010年にはMercury Insurance社が1600万ドルを投じて同様の発案を支持し、California州民はこれを拒否しました。

同社はまた同じことを繰り返しています。大富豪として知られるMercury InsuranceのGeorge Joseph会長は、提案33への資金としてすでに800万ドルを費やしています。億単位の資金を持つ保険会社がこれほどの巨額をはたいて州民の出費を抑えようとするなど、果たしてそうあるでしょうか。

提案33は、正当な理由で一定期間運転を控え、運転再開にあたり新たに保険を必要とするドライバーを不当に扱うものです。司法長官による公式な要約によると、提案33は「保険会社が保険料の割り増しを行うことを許可する」ものですが、これでは申し分のない運転歴を持つ優良ドライバーに対しても値上げが可能になってしまいます。

提案33は巧妙な表現で州民を欺き、言行不一致も甚だしいものです。California州保険局が指摘している通り、いわゆる「継続加入割引」措置はCalifornia州の多くのドライバーにとって「結局は値上げを意味する」策略であるという可能性もあるため、注意が必要です。コンシューマーレポートの政策・擁護部門に当たる消費者同盟が提案33に反対しているのはこのためです。

提案33は、大学を卒業し、就職に伴って車を運転する必要が生じた学生にとっても保険料の値上げを意味します。

また提案33では、重大な病気やけがの治療のため運転を中止し、やむを得ず保険未加入期間が発生した場合にも保険料が値上がりします。

提案33は保険業界の規制を撤廃し、大手保険会社各社の説明責任を曖昧にするものです。これこそが、大富豪に率いられ過剰請求の前歴を持つ保険会社Mercury Insuranceが本法案の資金の99%を提供している理由です。California州保険局はMercury社について、「その評判にたがわず顧客搾取に終始し、傲慢かつ無神経な態度で故意に法を犯している」と述べています。これまで自動車保険を必要としなかった優良ドライバーに不利益をもたらす提案33に反対票を投じてください。

提案33は、保険会社が申し分のない運転歴を持つ顧客に対してまで、過去5年間のうち一定期間自動車保険に加入していなかったというだけで保険料の大幅な値上げを行うことを認めるものです。当時車を所有しておらず保険がまったく不要であったドライバーさえも、この不利益を被ることになります。

California州の中産階級家庭に深刻な影響を与える提案33に反対票を投じてください。

提案33の値上げがすでに合法化されている州では、より高額の保険料が課されています。

- テキサスでは61%増し。

- ネバダでは79%増し。

- フロリダでは103%増し。

保険に加入しないドライバーを増加させ、州民全員にとってマイナスとなる提案33に反対票を投じてください。

California州保険局は、保険会社が課そうとしているこの経済的負担は「人々の保険加入を妨げるものであり、結果的に未加入のドライバーが増え、最終的には加入者が未加入ドライバーの分まで保険料を負担することになる」と述べています。

未加入のドライバーが増えれば、納税者にとっても州にとってもマイナスになります。

提案33に反対票を投じてください。これはCalifornia州民が2010年に拒否した提案とほぼ同じです。強力な特別利益団体に対抗し、断固反対を主張しましょう。

保険会社にこれ以上保険料を吊り上げる権利を与えてはいけません。

提案33に反対を。うまい話には必ず裏があります。

詳細は<http://www.StopTheSurcharge.org>をご覧ください。

HARVEY ROSENFELD、創始者

Consumer Watchdog

ELISA ODABASHIAN、ディレクター

消費者同盟West Coast Office and State Campaigns

(コンシューマーレポート政策・擁護部門)

NAN BRASMER、プレジデント

アメリカ退職者California同盟

★ 提案33の反対意見に対する反論 ★

法律に従って自動車保険に加入しているCalifornia州民は保険料の割引を受けられますが、現行法では保険会社を切り替えた場合、割引資格を失います。

提案33はこの問題を解決し、より有利な他社の契約に切り替えた後もこの報酬を維持できるようにします。

反対派は卑劣な策略で無用に州民の不安感を煽っているだけです。現に提案33の支持者と第二次世界大戦の退役軍人であるGeorge Josephが立ち上げた企業は、優れたカスタマーサービスと安価な保険料を提供し、California州民の支持を集めています。

ぜひ提案33をお読みになり、真実を見極めてください。

消防士やCalifornia州ハイウェイパトロール協会が提案33を支持しているのも、California州のドライバーが漏れなく保険に加入し、誰もがより有利な他社の自動車保険に切り替える機会を得られるよう願ってのことです。

また、不公正な事業慣行の排除を目指す消費者団体Greenlining Instituteが提案33を支持しているのは、この提案が消費者を保護し、法律を遵守する全州民に割引を適用するものだからです。

- 提案33は、保険会社を切り替えたドライバーにも継続加入割引を適用します。

- 提案33は、法律に従って自動車保険に継続加入しているドライバーがどの保険会社を選択するかに関わらず、報酬を提供します。

- 提案33は消費者による保険会社の切り替えを容易にして競争を促進し、保険料の全体的な値下げをもたらします。

- 提案33は消費者の権利を保護し、法律を遵守するすべてのドライバーに継続加入割引を適用します。

- 提案33は軍人世帯ならびに一時解雇や一時帰休による失業者、学生ドライバーを保護し、未加入ドライバーの保険購入意欲を高めます。

退役軍人クラブ(VFW)やGIフォーラムなどの退役軍人団体は、提案33を支持しています。

提案33に賛成票を投じてください。

ROBERT T. WOLF、プレジデント

CDF Firefighters

JULIAN CANETE、プレジデント

California州ヒスパニック商工会議所

SAMUEL KANG、顧問

The Greenlining Institute